

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	3月26日(金)	A.T. Ippen 教授学術講演会	土木学会	3号5 ページ参照
	4月23日(金)	第2回異形鉄筋シンポジウム	東 京	3号4 "
	5月28日(金) ~30日(日)	第51回通常総会および第20回年次学術講演会(西部支部共催)	福 岡 市	3号2 "
	5月30日(日) ~6月1日(火)	見 学 会(西部支部共催)	九州地方	3号2 "
北海道支部	4月15日(木)	支部総会	札幌市	3号5 "
関東支部	4月17日(土)	学生のための映画会	土木学会	3号5 "
	4月28日(火)	支部総会	"	3号6 "
中部支部	3月19日(金)	見 学 会	三重県伊賀上野地区	1号6 "
	4月28日(金)	支部年次総会	金 沢 市	3号6 "
関西支部	3月23日(火) ~24日(水)	土質改良工法講習会	大 阪 市	1号7 "
そ の 他	3月25日(木) ~27日(土)	地震と地盤に関する講習会	東京・大阪	3号75 "
	4月20日(火)	Prof. T.Y. Lin 氏講演会	東京会館	3号9 "
	4月20日(火) ~22日(木)	第2回理工学における同位元素研究発表会	東京大学	1号4 "
お知らせ	■土木図書館講堂公開			3号3 "
	■土木図書館の利用について			3号3 "
	■第15回応用力学連合講演会講演募集予告			3号4 "
	■40年度論文集予約申込みについて(締切3月31日)			3号5 "
	■40年度会員名簿発行と実費の一部ご負担のお願い			3号5 "
	■米国土木学会(ASCE)との客員サービス制度締結について			3号7 "
	■第3回国際水質汚濁研究会議の論文概要の公募について			3号8 "
	■第9回国際水工学・第6回国際衛生工学コース			3号9 "
	■設計と強度計算の問題に関する第2回会議			3号9 "
	■第3回世界地震工学会議議事録(論文集)予約募集			3号9 "
■International Symposium on Shell Structures in Engineering Practice			3号9 "	
出版案内	<p align="center">■EARTHQUAKE RESISTANT DESIGN FOR CIVIL ENGINEERING STRUCTURES, EARTH STRUCTURES AND FOUNDATIONS IN JAPAN, 1964</p> <p>今回第3回世界地震工学会議がニュージーランドで開かれるに当り、わが国の最新の耐震工学の研究を紹介するために標記の図書を刊行しました。ぜひご一読のうえ広く海外へご紹介下さい。</p> <p>体 裁: B5判 122 ページ グラビヤ写真 4ページ 付図1葉 定 価: 1000 円(〒100 円) 国外: US 3.5 ドル</p> <p align="center">コンクリート・ライブラリー第 11 号</p> <p>■微細な空けきてん充のためのセメント注入における混和材料に関する研究</p> <p>標記の図書は 工学博士 樋口芳朗氏(国鉄鉄道技術研究所)が執筆されたものであり昭和38年度吉田賞受賞論文です。本論文は昭和36年4月に発表された主論文に最近の研究を付録として追加しとりまとめたものです。ぜひご一読下さるようご案内いたします。</p> <p>体 裁: B5判8ボ2段組 28 ページ 定価: 120 円(〒50 円) 会員特価: 100円(〒50 円)</p>			

第 51 回通常総会および第 20 回年次学術講演会 ◀ 5 月 28 日(金)~30 日(日) ▶

昭和 40 年度土木学会通常総会(第 51 回)および第 20 回年次学術講演会はずきの日程で行なわれます。詳細のプログラムは例年のとおり会員に別途郵送いたします。

1. 通常総会: 1965 年 5 月 28 日(金) 14.00~17.00 明治生命ホール(福岡市中島町)
2. 総合講演会: 1965 年 5 月 29 日(土) 9.00~12.00 福岡市民会館(福岡市天神 5 丁目)

9.10~ 9.40	橋梁事故物語	土木学会会長	福田 武 雄
9.45~10.15	豊太閤と博多一博多の太閤町割について	九州大学教授	鏡 山 猛
10.20~10.50	北九州地方の総合開発について	九州・山口経済連合会専務理事	浜 正 雄
10.55~11.25	新潟地震をかえりみて	元東京大学地震研究所長	高 橋 竜 太郎
3. 年次学術講演会: 1965 年 5 月 29 日(土) 13.00~17.00 } 九州大学工学部
 5 月 30 日(日) 9.00~17.00 }
4. 懇 親 会: 1965 年 5 月 29 日(土) 18.00~19.30 天神ビルホール 会費 500 円
5. 見 学 会: 1965 年 5 月 30 日(日) ~ 6 月 1 日(火)

A 関門北九州コース: 5 月 31 日発	下 関 解散	17.00	会費 500 円
B 西 九 州コース: "	雲仙泊 長 崎 "	14.30	" 5000 円
C 中 九 州コース: "	内牧泊 別 府 "	17.00	" 5000 円
D 南 九 州コース: 5 月 30 日夜行	霧島泊 鹿 児 島 "	12.30	" 6000 円

6. そ の 他: 年次学術講演会実施要領, その他詳細は前号でお知らせし, 講演申込みは, 1 月 15 日に締切りました。講演概要の締切は 2 月 28 日, 原稿提出要領および質疑討論の申込要領は下記のとおりです。

① 質疑討論の申込要領

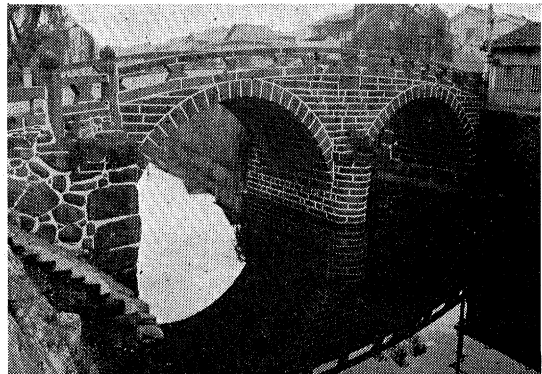
- 1) 質疑討論を行なうことを希望するものは所定の期日(5 月 10 日)までに, 原則として指定の質問券(3 枚綴複写, 第 1, 第 2 枚目は学術講演会係用, 第 3 枚目は質問者の控え)によって学術講演会係(福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室内)に申込むこと。
- 2) 質問券は概要集とともに参加者に送付する。
- 3) 申込まれた質疑討論の内容はあらかじめ各著者に回付する。
- 4) 時間に余裕がある場合にかぎり, 期限以後到着の質問カードおよび講演会場での質疑討論の申込みを受付ける。

眠 鏡 橋

眠鏡橋は長崎市内を貫流する中島川に寛永 11 年(1634 年)に架設されたわが国最初のアーチ構造として貴重なものである。中島川にはこの眠鏡橋を中心として川上に 12, 川下には 1 つの石造アーチ橋がある。眠鏡橋は重要文化財に指定されており, 興福寺の住職 如定禪師によって架けられたもので, 橋の双門が水面に映り, 眠鏡のように見えるところからこの名が起ったといわれている。

備 考:

- ㊤ 講演概要集の購入申込締切期日
(福岡市箱崎町九州大学工学部土木教室 内学 術講演会係宛)
1965 年 4 月 15 日(木)(期限厳守)(事前発送の場合)
- ㊦ 質疑討論の申込締切期日(同上 学術講演会係宛)
1965 年 5 月 10 日(月)
- ㊧ 講演会の実施日時:
1965 年 5 月 29 日(土) 13.00~17.00 } 実施場所:
5 月 30 日(日) 9.00~17.00 } 九州大学
- ㊨ プログラムの発送期日: 1965 年 3 月下旬の見込み



土木図書館講堂公開

土木図書館講堂は図書館活動にふさわしい催物について広く一般に公開いたします。文化施設を有効に活用するため会員各位ならびに関係方面のご利用を期待いたします。使用料その他は下記のとおりです。

土木図書館講堂使用料

講 堂 (定員 200 人)

使用者	平 日				土 曜 日				日 曜 日, 祝 日			
	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日	午前	午後	夜間	全日
	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00	9.30~ 12.30	13.00~ 16.30	17.00~ 20.00	9.30~ 20.00
一 般	3 500	4 500	5 000	10 000	3 500	5 000	5 500	12 000	4 500	5 000	5 500	13 000
関 係 団 体	2 400	3 000	3 500	7 000	2 400	3 500	3 800	8 500	3 000	3 500	3 800	9 000

附 属 設 備

ワイヤレスマイク	1 回 につ き	500
スライドプロジェクター	"	1 000
持込電気器具電力料	1kW 時 につ き	50
暖 房 料	1 時 間 につ き	500
冷 房 料	"	250

- 注：1. 講堂の使用は図書館活動にふさわしい催物であること。
 2. 上表の関係団体とは、官公庁、公共企業体、政府関係機関、および関係学協会（本会共催を含む）とする。
 3. 日曜日、祝日は原則として使用を認めない。
 4. 所定の時間を越える使用は原則として認めない。
 5. 使用申込は原則として使用日の2ヵ月前から受付ける。
 6. 使用申込は所定の申込書に使用料を添えて提出すること。
 7. すでに納めた使用料は特別の事由があると認められた場合は半額を返金する。
 8. 講堂使用に関連して会議室を使用する場合の料金は別の定めによる。

土木図書館の利用について

先に口絵写真で紹介致しました図書館は、去る2月初旬より閲覧業務を始めました。現在備付図書の整備を行っておりますので、まだご満足いただける図書館としての機能を欠いている恐れはありますが、会員の方々のご利用をお待ちしております。なお、下記利用規程の抜すいをご参照の上ご利用下さい。詳細につきましては、土木図書館（電（351）5138・内線 21）へお問合せ下さい。

記

- 1) 閲覧証の交付：図書館を利用する会員の方は図書館受付にて閲覧証の交付を受けて下さい〔なお、会員外の方は閲覧料（1日：100円、年間1800円）を頂きます〕。
- 2) 閲覧時間：午前9時30分～午後4時30分（ただし臨時に変更することがあります）
- 3) 休館日：日曜日・国の祝日・年末年始（12月25日～1月5日）・その他臨時に休館することがあります。
- 4) 図書の貸出し：図書の貸出しはいっさい行ないません。
- 5) 文献複写：図書の複写は実費を添えて所定の申込書によって申し込んで下さい。

第2回異形鉄筋に関するシンポジウム

◀4月23日(金)▶

下記により標記シンポジウムを開催いたしますのでふるってご参加下さるようご案内いたします。

場 所：日本化学会講堂（国電中央線御茶水下車徒歩3分）

参加料：無 料

講演概要：当日会場にて講演概要を頒布いたします。

プ ロ グ ラ ム

9.30~9.45	委員 長 挨拶	コンクリート委員会委員長	国 分 正 胤
9.45~10.00	(1) コンクリートのひびわれと鉄筋の露出		早 大 神 山 一
10.00~10.15	(2) 異形鉄筋によるひびわれの分散について		京 大 六 車 熙・森田 司郎・角 徹三
10.15~10.30	(3) 鉄筋コンクリート部材引張部のひびわれに関する研究		東北大 ○後藤 幸正・植田 紳治・満木 泰郎
10.30~10.45	(1)~(3) 討 議		
10.45~10.55	休 憩		
10.55~11.10	(4) 異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート梁のせん断補強方法について		広島大 船 越 稔
11.10~11.25	(5) 鉄筋コンクリート梁の重ね継手に関する実験		東大生研 丸安 隆和・小林 一輔・伊藤 利治
11.25~11.40	(6) 異形鉄筋の定着について		都立大 林 田 二郎
11.40~11.55	(7) 各種の高張力異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリート大型バリの曲げ性状に関する研究		国鉄 松本嘉司・首都高速 ○中村正平・小野田セメント 河野 清・日本セメント 中山紀男・東大 岡村 甫
11.55~12.15	(4)~(7) 討 議		
12.15~13.00	昼 食 休 憩		
13.00~13.15	(8) 鉄筋コンクリート梁による異形鉄筋とコンクリートとの付着強度試験結果について		中 大 西 沢 紀 昭・○米 山 紘 一
13.15~13.30	(9) 異形鉄筋の付着強度に関する 2, 3 の実験	小野田セメント	杉木 六郎・○河野 清・江村 建三・木下 幸一
13.30~13.45	(10) 異形鉄筋の付着強度		国 鉄 樋 口 芳 朗・西 郷 勘 次 郎
13.45~14.00	(11) 異形鉄筋の付着に関する実験		北 大 横 道 英 雄・藤 田 嘉 夫
14.00~14.15	(12) 鉄筋とコンクリートの付着について		東 大 国 分 正 胤・○岡 村 甫
14.15~14.40	(8)~(12) 討 議		
14.40~15.00	休 憩		
15.00~15.15	(13) 異形鉄筋の静的および疲労強度について		北 大 横 道 英 雄・藤 田 嘉 夫
15.15~15.30	(14) 異形丸鋼の疲れ強さ		国 鉄 富 田 勝 信・渡 辺 信 一
15.30~15.40	(13)~(14) 討 議		
15.40~15.55	(15) 各種異形鉄筋を用いたT形ばりの疲労試験		日本セメント 中 山 紀 男
15.55~16.10	(16) 鉄筋コンクリート梁の疲労破壊について	東大生研	丸安 隆和・小林 一輔・伊藤 利治・工藤 幸紀
16.10~16.25	(17) 異形棒鋼を用いたRC桁の曲げ疲労試験	北大	横道 英雄・藤田 嘉夫・開発局 西堀 忠信
16.25~16.40	(18) 各種の高張力異形鉄筋を用いた鉄筋コンクリートばりの疲労に関する研究		東大 国分 正胤・国鉄 多田 実朝・立花 一郎・○松本 嘉司
16.40~16.55	(19) 異形鉄筋コンクリートまくら木		国 鉄 三 浦 一 郎
16.55~17.20	(15)~(19) 討 議		
17.20~17.30	閉 会 挨拶		国 分 正 胤

第15回応用力学連合講演会講演募集予告

毎年秋に開催の応用力学連合講演会は本年も下記予定で開催すべく準備を進めておりますから、講演発表ご希望の方はあらかじめ準備おき下さるよう予告いたします。詳細は次号に発表いたします。

記

開催の時期：1965年9月上旬

開催地：東京都内

昭和 40 年度論文集予約申込みについて

◀ 申込締切 3 月 31 日 ▶

40 年度論文集（40 年 4 月～41 年 3 月）の予約申込みを行ないますので、ご希望の方は年間講読料 600 円（外地送本の場合は、4 米ドル）を添えて、3 月 31 日までにお申込み下さい。なお、40 年度の予約受付は今回だけとなりますから、従来購読しておられる方でもお忘れなくお申込み願います。

昭和 40 年度会員名簿発刊と実費の一部ご負担のお願い

本年は 2 年に一回の会員名簿発行年にあたります。11 月中に会員各位のお手許にとどくよう諸準備にとりかかりますが、最近における諸物価の高騰は印刷費、用紙代などに特にいちじるしく、送料も遠隔地においては 1 部 170 円という費用となります。A 5 判 700 ページの会員名簿を無料で会員各位に配付することが本旨ですが、実費が 1 部約 600 円かかり、経営上非常に困難な状況となりましたので、本年度は発送費ということで 150 円ずつ会員各位にご負担いただくこととなりました。誠に申し訳ありませんが近日中にご請求申し上げる昭和 40 年度会費 1 800 円と一諸に合計 1 950 円をお払込み下さい。

なお名簿の完全を期するため日常の異動については、ただちにご連絡下さるようお願い申し上げます。

A.T. Ippen 教授学術講演会

◀ 3 月 26 日（金）13.00～15.00 ▶

日米科学協力に基づく教授交換プログラムにより、マサチューセッツ工科大学（M.I.T.）の Authur T. Ippen 教授が 3 月 6 日来日され、約 1 カ月余日本に滞在されます。

水理委員会ではこの機会に Ippen 教授の学術講演会を下記のとおり開催し、あわせて同教授を囲んで懇談をいたしたいと思いますので、有志の方は多数ご参加下さい。

場 所：土木学会 土木図書館講堂

北海道支部行事案内

（札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内・電 札幌 83-4161）

昭和 39 年度支部総会

◀ 4 月 15 日（木）13.00 より ▶

1. 会 場：札幌市民会館階上 2 号室
2. 主なる議題：1) 39 年度事業並びに会計報告
2) 支部奨励費の発表と表彰
3) 新役員の選挙結果の発表
3. そ の 他：① 総会終了後著名映画の上映 ② 会員多数出席されたい。

関東支部行事案内

（東京都新宿区四谷 1 丁目 土木学会事業課内・電東京 351-5138）

（1）学生のための映画会（第 4 回）

◀ 4 月 17 日（土）14.30～16.30 ▶

学生のための映画会は、第 3 回（39 年 7 月）以後会場の関係で一時中止しておりましたが、4 月から再開することになりました。上映映画は最近作品の優秀なものを選ぶことにしております。学生諸君のみならず広く一般会員の観覧をおすすめいたします。

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂（東京都新宿区四谷 1 丁目・電 351-5138）
2. 上映映画：① 名神高速道路の舗装（土木学会創立 50 周年記念国土開発映画コンクール佳作賞作品）
② 羽田海底トンネル（土木学会創立 50 周年記念国土開発映画コンクール優秀賞作品）
③ 川の上を走る高速道路（土木学会創立 50 周年記念国土開発映画コンクール参加作品）
④ 道（タール舗装）

3. 定 員：180 名
4. 参 加 費：無料，一般会員の参加歓迎

(2) 支部総会 (第2回通常総会)

◀ 4 月 28 日 (水) ・ 14.00 より ▶

1. 場 所：土木学会土木図書館講堂
2. 議 題：① 昭和 39 年度事業報告および決算報告の承認 ② 昭和 40 年度事業計画および予算の報告
③ 商議員改選の承認
3. 映 画：① プレバクトコンクリート—大阪北港防波堤— (土木学会創立 50 周年記念国土開発映画コンクール参加作品)
② 銀座の地下を掘る (土木学会創立 50 周年記念国土開発映画コンクール最優秀賞作品)
4. 懇 親 会：総会、映画終了後 (16.30 の予定) 懇親会を催します。(会場同所)。
参加希望者は参加費 500 円を添えて 4 月 21 日 (水) までに関東支部宛お申込み下さい。参加券をお送りします。

◎ この会告をもって総会開催通知といたします。関東支部会員多数ご出席下さい。

(3) 昭和 40 年度行事予定

- | | | | |
|----------------------------|-------------|-------|----|
| 1. 講 演 会：「海外進出の問題点」 | 6月中旬 (全1日) | 200 人 | |
| 「最近の地震の諸問題」 | 9月上旬 (半 日) | 200 人 | |
| 2. 講 習 会：「新しいコンクリートの混和剤」 | 11月上旬 (全1日) | 200 人 | |
| 3. セ ミ ナ ー：「シールド工法の現状と問題点」 | 7月上旬 (全1日) | 200 人 | 有料 |
| 「電子計算機」 | 10月中旬 (4日間) | 20 人 | 有料 |
| 4. 見 学 会：「黒四ダム」 | 8月上旬 (全1日) | 40 人 | 有料 |
| 「川俣アーチダム」 | 11月上旬 (全1日) | 50 人 | 有料 |

◎ 以上いずれも予定であって、決定しだい逐次くわしくお知らせします。

中部支部行事案内

(名古屋市中区外堀町6の1 名古屋土木局)
道路建設課内・電 名古屋 94-5511

支部年次総会

◀ 4 月 28 日 (木) 10.00 より ▶

1. 場 所：金沢市下本多町3番丁5番地6 農業会館4階大ホール
2. 日 程：総 会 (午前 10 時開会)；(1) 開会のことば (2) 会務報告 (3) 来賓挨拶 (4) 新旧支部長挨拶
(5) 閉会のことば
記念講演 (午前 11 時～正午)；題名および講演者 未定
見 学 会 (午後 1 時～午後 5 時)；農業会館前午後 1 時出発 (バスにて)、河北潟干拓工事—金沢港—加賀三湖
干拓工事を見学—午後 5 時片山津温泉着
3. 懇 親 会：午後 6 時～7 時
場所；石川県片山津温泉三谷屋 会費；実費徴収の予定 (約 1500 円～2500 円)
4. 申 込 方 法：1965 年 4 月 5 日までに土木学会中部支部までお申込み下さい。なお、会費は申込みの際内金として 1500 円を現金書留等にてご送金下さい。差額は当日会場受付にて徴収させて頂き申込後お取消しになっても内金は原則として返金致さないことに致します。

米国土木学会 (ASCE) との客員サービス制度締結について

先般、米国土木学会 (ASCE) より International Relationship in Engineering の一環として、ASCE と日本の土木学会の客員サービス交換を行ないたい旨の提案がありました。ASCE ではすでに英国、アイルランド、フランス、ノルウェー、スイス、ポルトガルなどの関係学会とこの契約を結んでいるとのことです。当学会では理事会および海外連絡委員会の承認を経て、この提案に応じることとし契約を完了致しました。その内容は末尾の英文メモランダム原文に見られるとおりで、その要点はつぎのようなものであります。

この制度は、本国の土木学会に所属する会員が相手国に滞在する間、相手国の土木学会の客員として待遇され、たとえば下記の恩典を受けることができる。

- 1) 相手国内における職業上の接触、訪問などを助けるため、受入学会の客員としての身分証明書を発行する。
- 2) 受入学会の本部、支部における特別な外国人技術者客員連絡リストに登録される。
- 3) 受入学会はすべての技術上あるいは社交上の会合の案内をし、学会員並の会費で参加する特権を与える。
- 4) 受入学会の定期刊行物、ニュースレターの予約購読者になれる。
- 5) 受入学会の出版物の購入または予約が、その学会員並の割引価格でなされる。

客員になるための手続きとしてはまず本人の属する自国の学会専務理事より適当な紹介状を発行してもらい、これを相手国の学会事務局に直接あるいは書面で示し、年額 10 ドルの会費を納入すればよい。有効期間は 3 年以内の契約となっている。

本国の土木学会会員ならば無条件にというわけではありませんので、この制度を利用することをご希望の方は一応学会事務局にご相談下さい。会員各位におかれては積極的にこれを御利用下さることをおすすめ致します。また、米国土木学会より客員の資格で来日された方にはなにぶんの御便宜をおはかり下さるようお願い致します。

MEMORANDUM OF AGREEMENT

ON

EXCHANGE OF MEMBERSHIP GUEST PRIVILEGES

1. This memorandum records the mutual agreement of the Japan Society of Civil Engineers and the American Society of Civil Engineers to implement the objectives and philosophy of the statement entitled "International Relationships in Engineering", which is attached and made a part hereof. The agreement is based upon the premise that an engineer practicing outside his own country is best served professionally by the national engineering society in the country in which he is engaged, to the end that he becomes a welcome addition to the professional community of that country.

2. In furtherance of this aim it is agreed that a member in good standing of either Society, who is living or working in the country served by the other Society, and who is provided with an appropriate letter of introduction by the Secretary of his own Society, may, if he desires, subscribe to certain guest privileges to be extended by the other, or Host Society. The guest privileges to be made available by the Host Society shall include the following:

- (a) A wallet card identifying the member as a guest of the Host Society for assistance in professional contact, visits, etc.
- (b) Registration in special Foreign Engineer Guest mailing lists to be maintained by the Host Society and any of its local sections in which the guest member might locate.
- (c) Regular mailings of notices of all technical and social meetings of the Host Society, national or local, with the privilege to attend and participate at regular membership registration fees.
- (d) A subscription to the periodical magazine or newsletter of the Host Society.
- (e) Privilege to purchase or subscribe to any publications of the Host Society at the same discounted rates extended to its own members.

3. Upon presentation of his letter of introduction to the Secretary of the Host Society, either in person or in writing, the Foreign Engineer Guest will be extended the privileges above listed upon payment to the Host Society of an annual subscription fee in the amount of \$ 10 (U.S.)

Such subscription fee shall be payable annually in advance for the term of guest enrollment.

4. Foreign Engineer Guest enrollment under this agreement will be extended to any member for a period of not less than one year or more than 3 years. Such enrollment shall be suspended immediately (a) when the Host Society is notified that a Guest Engineer is no longer a member in good standing of his own Society, or (b) when the Foreign Engineer leaves the country of the Host Society.

5. This agreement may be terminated by either Society upon thirty days written notice to the other Society. In the event of termination, all current Guest Engineer enrollments will be continued to expiration.

Signed : Secretary, American Society of Civil Engineers

(Date)

Secretary,

第3回国際水質汚濁研究会議の論文概要の公募について

1962年9月3日～7日の London における第1回、および1964年9月24日～29日の東京における第2回の会議に続いて、第3回が1966年9月5日より9日に至る5日間に西ドイツの München で開催されることになりました。つきましては、下記の要項をご参照のうえ多数に応募下さい。

第3回国際水質汚濁研究会議の概要

1. 会 議 名：第3回国際水質汚濁研究会議 (The Third International Conference on Water Pollution Research)
2. 期 日・場 所：1966年9月5日～9日 München 市 (西ドイツ)
3. 国際運営常任委員：委員長 E.A. Pearson 他 19名 (日本委員は京大教授 岩井重久博士)
4. 本会議のプログラム：つぎの3つの部会において進行される。

- (1) 淡水河川の自浄作用と汚濁の漁業におよぼす影響 (議長は O. Jaag 教授)
- (2) 下水および産業排水の処理 (議長は A. Holroyd 博士)
- (3) 汚濁の海洋環境におよぼす影響 (議長は J. Pas Maroto 博士)

各部会ごとに最大数16編の主論文をとり上げる。これらの論文はあらかじめ公募により集められた欧文 (なるべく英文、仏文、独文も可) 500～1000語 (8・1/2"×11"の用紙にタイプのこと) の論文概要(採択された後に変更しないように題目をつけ、著者名、所属機関、その宛名を記し研究の目的、動機、方法、結論を簡明に述べること。また、論文の内容程度は、独創的で斬新、高級しかも、その地域の代表的なテーマをとり上げたものが望ましい) について、その内容を慎重に検討したうえ、採択された分はその全文を提出願ひ、これらを予稿として印刷する。さらにこれらの主論文に対し、各2～3名ずつの公式討議者を選定し、それぞれに討議論文の提出を依頼する。これらの論文は自由討議の記録とともに、会議終了後改めて議事録に採録、公刊される。論文概要の選考およびその後の予定はつぎのとおりとする。

- ① 論文概要の公募 (1965年2月)
- ② 論文概要の縮切り (1965年4月30日)
- ③ 本論文の採択および公式討議者の指名 (1965年5月20日以降)
- ④ 採択された本論文および討議論文の著者への通知 (1965年7月15日頃)
- ⑤ 本論文全文の縮切り (1965年11月1日)
- ⑥ 討議論文の縮切り (1965年12月31日)

5. 論文概要作成上の注意：

- (1) 欧文 (英、仏、または独語) 500～1000語の間の長さのもの6部 (内1部はコピー可能なもの)
- (2) 8 1/2"×11"の用紙にダブルスペースでタイプで打つ。
- (3) 添付写真は白黒で大型のもの (著者名を鉛筆書のこと)
- (4) 付図はトレーシングペーパー (またはクローズ) 上に黒線で引き、レタリングは縮尺を考慮して凸板にとれるような大きさとする。タイプで打たないこと。
- (5) 同じ内容の邦文 (コピーできるもの) 1部。
- (6) 他に不明の点があれば、下記へ問合せのこと。

6. 論文概要送付先：東京都新宿区四谷一丁目 (外濠公園入口) 社団法人 土木学会衛生工学委員会 (封筒に「国際水質汚濁研究会議用」と表記のこと) TEL : (351) 5130, 5138～9

